

新生成田市市場



新たな食の拠点が ついに開場

成田空港隣接地への移転・再整備事業を進めてきた新生成田市市場が、いよいよ1月20日(木)に開場します。

国内外へ食を提供する 日本初の物流拠点

新市場は成田空港に隣接する天神峰地区に開場します。

空港の入り口までの距離は約3キロメートルと近く、農水産物の加工や海外への輸出に必要な手続きを市場内で完結することができ、「ワンストップ輸出機能」を備えていることから、海外への輸出を迅速に行うことができます。新市場は、このワンストップ輸出機能を備えた日本初の物流拠点となっています。

また、現在整備が進められている圏央道や東関東自動車道のインターチェンジにも近いため、海外だけでなく国内への物流にも最適な立地に建設されています。

衛生管理が徹底された 閉鎖型施設に

新市場には、水産・青果棟や高機能物流棟があり(図1)、従来の

開放型施設から衛生管理が徹底された閉鎖型施設となっています。また、水産棟は施設全体に低温管理機能が施され、適切な温度管理ができるようになっています。

気温の変化などによる影響を受けなくなるため、商品鮮度の高い状態で保つことができ、より安全・安心な食材を皆さんに提供できるようになります。

開場後は見学もできます

新市場には、各売り場の様子を見ながら市場の役割を学ぶことができる見学コースが整備されていますので、開場後にぜひ利用してください。団体での見学を希望する場合は、1月20日以降に卸売市場へ問い合わせください。

海外にも新鮮な食材を ワンストップ輸出機能

高機能物流棟は、加工エリア、冷蔵・冷凍エリア、ワンストップ輸出エリア、輸出加工エリアに分かれています。





一定の温度が保たれる水産棟



新鮮な農産物を購入できる青果棟



輸出手続きができる高機能物流棟



卸売場を見渡せる休憩スペース



入り口にはロゴ入りののれんも



さまざまな食材が搬入される



新市場と成田空港第2ターミナルビルを往復するシャトルバスを運行しています。シャトルバスは

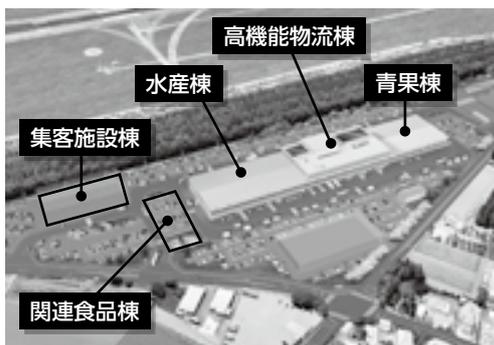
シャトルバスを 利用できます

関連食品棟は令和4年度中のオープンに向けて準備を進めています。また、集客施設や展望デッキも引き続き整備に向けて取り組んでいきます。

そのほかの施設も続々とオープン
新市場にはほかにも、肉や漬物、調味料などを取り扱う関連食品棟、市場から卸された新鮮な食材の買い物や食事が楽しめる集客施設棟、飛行機の離着陸を間近に眺めることのできる展望デッキが建設される予定です。

そのほかの施設も 続々とオープン

この施設内だけで、水産・青果棟から調達した農水産物をすぐに加工し、海外へ輸出するために必要な各種証明書の受け取り・植物検疫・爆発物検査・通関といった手続きを行うことができます。本来なら時間が掛かってしまう輸出手続きなどを一貫して行うことで、朝にとれた農水産物をその日のうちに海外の店舗に並べることがができます。



新市場の施設 (図1)

誰でも利用することができるので、新市場を訪れる際に利用してください。
料金 中学生以上200円、小学生100円、未就学児無料
※くわしくは卸売市場(☎23・0021)、1月20日以降は(☎37・7018)へ。